

2009年11月27日

科学技術振興調整費（女性研究者支援モデル育成）事業 評価結果報告書（案）について

－ 被評価者からの意見 －

国立大学法人 北海道大学

総長 佐伯 浩

課題名： 輝け、女性研究者！活かす、育てる、支えるプラン in 北大

実施期間： 平成18～20年度

実施機関： 北海道大学（代表者：佐伯 浩）

本学が取り組んでまいりました上記振興調整費事業実施課題に対する評価結果報告書（案）を拝見いたしました。有識者から成る評価委員の方々からいただきました客観的なご意見・ご指摘・ご批評は、これまでの事業・組織の取り組み方を顧みて今後よりよく事業推進・展開していくために活かしていきたいと思っておりますが、評価結果報告書（案）の記載では評価基準・理由が明確でなく、評価決定に至った審査過程の開示と共にご教示いただきたいと存じます。尚、私共が課題提案にあたって掲げ選考委員会で認められて採択に至った事業目標・ミッションステートメント、および本学システム改革の進捗等が正しくご認識いただけていないと判断されるものにつきましては、別添で補足説明させていただいております。

◆（2）個別評価 ①目標達成度について：「評価b」の理由を明確にお示しください。

評価コメント中、「評価b」につながる個所は「微増」でしょうか。本事業の目標は、本課題ミッションステートメントにも明示しているように、短期的な数値上昇でなく継続的な増員に向けた基盤整備・システム改革が主眼であったはずで、その目標は十二分に達成しております。（別添の補足説明をご参照ください。）

◆（2）個別評価 ⑤実施体制の妥当性について：「評価b」の理由を明確にお示しください。

評価コメント中に、「工学系における女性教員の採用が進みにくい原因を分析し、システムを十分機能させつつ、更なる努力を」とありますが、本事業は、後継プログラムである女性研究者養成システム改革加速プログラムとは異なり、工学系に特意的を絞って展開するものではなく、本学提案課題でも理工系全般の女性研究者の活躍促進を目指し、人文・社会科学系も含めた全学的取り組みとして意識改革・システム改革に努めてきております。工学系を含め、改革・環境整備の目標は十二分に達成され、加速プログラムの活用を含めた女性研究者増員のためのシステムは工学系においても既に機能しております。

◆総合評価について：「評価B」の理由を明確にお示しください。

評価6項目中、評価理由の明確化を上記でお願いしている2項目が評価「b」、その他の4項目は「a」評価でありましたが、総合評価は「B」となっており、納得できません。全項目「a」評価のみ総合評価「A」、あるいは実施10機関中での相対評価により上位20%等が「A」など、評価理由を明示していただきたいと思っております。